

調理科学会の年度大会で周知活動を行いました。

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年8月30日（木）・31日（金）に、兵庫県西宮市の武庫川女子大学で開催された一般社団法人日本調理科学会の平成30年度大会において、周知活動を行いました。

日本調理科学会の年度大会では、口頭及びポスターによる研究発表や公開シンポジウムが行われるほか、書籍の展示販売、企業による食品や機器類の展示も行われています。

例年、この大会には、（公財）塩事業センターがブースを出展して展示を行っていますが、今回は、このブースで、塩と暮らしを結ぶ運動の周知も行ないました。

塩事業センターのブースには、運動のポスターや、残暑の折から熱中症対策のポスターも掲示しました。そして、来場者の方々に、運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』、クリアファイルやウチワをお渡ししました。今回の企業展示スペースは、ポスター発表の会場と併設だったため、多くの方に訪れていただきました。

この大会の主な来場者は、栄養や食品関係の分野の学生や研究者の方々に、2日間で合計約680名の来場がありました。その中で、約200名の方に、塩と暮らしを結ぶ運動の冊子などをお配りすることができました。

栄養や食品について学んでおられる来場者の皆様は、普段から塩と調理については高い意識をお持ちと思いますが、そのような方々に、熱中症対策をはじめとする、調理に限らない塩と暮らしの関わりについても、お伝えすることができたのではと思います。

